



地域包括支援センターだより

「支えあい、安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり」

村上市互近所ささえ～る隊の紹介

「互近所ささえ～る隊」は、旧市町村単位の5地区と市全体で、各地域・集落に住民同士の助け合いを広めていく活動に取り組んでいます。今回は市全体で活動している互近所ささえ～る隊を紹介します。

1、互近所ささえ～る隊活動の啓発活動

- ①地域や各団体に出向き、「互近所ささえ～る隊」をさらにPRします。
- ②市民の皆さんからのアイデアを募集し「互近所ささえ～る隊」のロゴマークやキャラクターを作成します。

2、市全体の課題に取り組む

共通の生活課題だった「移動」「足」の問題に取り組めます。今年度は、各地区の交通事情や移動手段の現状をまとめ、移動資源マップを作成します。来年度以降は、地域や関係機関と話し合いながら、地域に合った具体的な取り組みを考えていく予定です。



▲互近所ささえ～る隊合同研修会

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線3432)
または各支所地域振興課地域福祉室



▶シナノキの樹皮をはぐ作業「しなへぎ」

今年の4月から山北地区山熊田集落に地域おこし協力隊として着任した藤沢弥由です。日本の伝統文化を育む仕事、がしたいと思っていたところ、しな布の協力隊募集を知りました。実際にここに住む人々の生命力やしな布が持っている自然の力強さと優しさに惹かれ応募しました。
活動内容は、しな布の継承・発信です。現在は主に、一通



藤沢 弥由 隊員

守りたい！暮らしと伝統文化



▲国の伝統的工芸品「羽越しな布」

この貴重な文化を守りながら、地域全体が元気に暮らし続けられる活動ができるよう日々取り組んでいきたいです。
実際に活動を行っている、暮らしの中で生み出されるしな布には、これまで受け継がれてきた技術や人々の力が詰まっているとわかります。しかし、その文化が消える寸前であるということも感じています。
暮らしの中で生み出されるしな布には、これまで受け継がれてきた技術や人々の力が詰まっているとわかります。しかし、その文化が消える寸前であるということも感じています。

シリーズ

暮らしと伝統文化の守り隊

地域おこし協力隊通信

●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111 (内線3310)

18